平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体

平成20年7月30日(水)　　二回戦

Gコート　第2試合　　本庄総合公園体育館 (シルクドーム)

チームA			チームB
桜花学園 愛 知	69	21 − 14 13 − 9 25 − 10 10 − 17 −	50	柴田女子 青 森

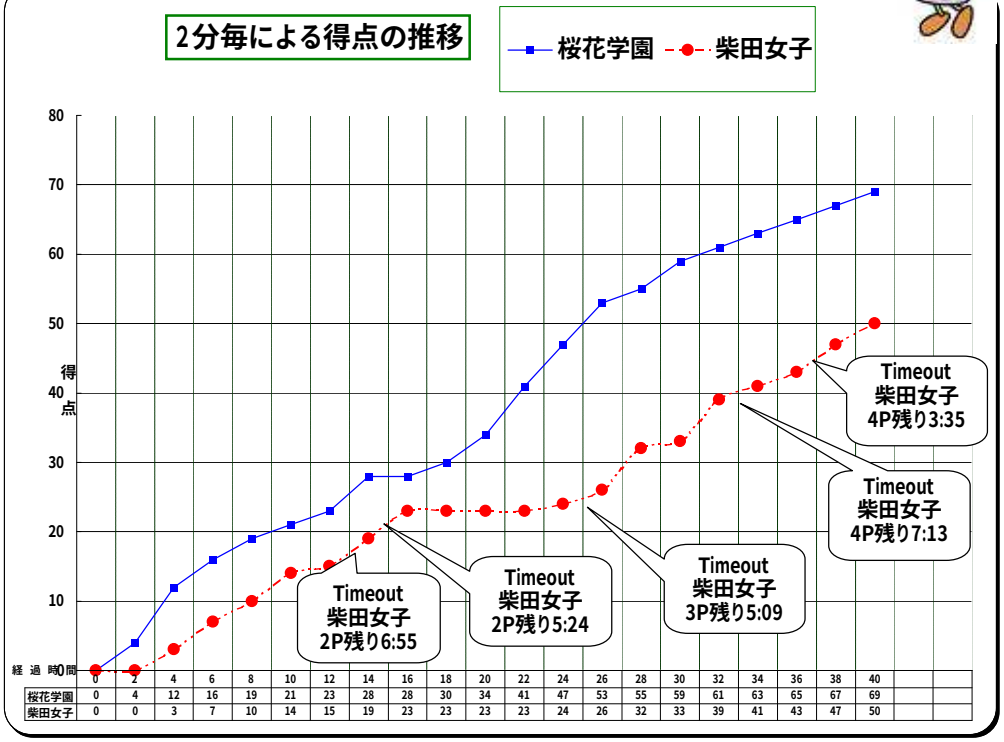
桜花学園

番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	後藤美紀	／	8	0	1	4	12	0	1	2	5	5	3	1	3	1	26
5	外山優子	／	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	10
6	岡本彩也花	X	6	0	1	3	3	0	0	2	2	0	3	1	9	0	27
7	水島沙紀	X	6	2	4	0	4	0	0	0	0	4	1	1	0	0	25
8	丹羽裕美	X	19	0	0	9	12	1	3	3	4	3	0	0	0	2	17
9	本多真実	X	4	0	1	2	3	0	0	0	3	2	2	0	5	0	18
10	梅木智加子	／	4	0	0	2	7	0	0	2	3	3	4	0	0	1	13
11	大西ﾑｰｱﾀﾞｲｱﾝまどか	／	6	0	0	3	6	0	0	5	1	5	4	0	0	0	22
12	長尾咲	／	2	0	1	1	3	0	0	1	1	1	2	0	2	0	13
13	村瀬瞳子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	磯部夏紀	／	4	0	0	2	3	0	1	2	2	8	0	0	0	2	12
15	渡嘉敷来夢	X	10	0	0	5	7	0	0	2	1	6	2	0	2	1	17
コーチ	井上眞一									0	0	3	0				
出場:×は先発、／は出場			69	2		31	60	1	5	20	22	41	22	3	21	7	200
			確率			51.7%		20.0%			計	63					

柴田女子

番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	下山由貴		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
5	川崎結衣	X	26	1	7	8	16	7	10	4	0	2	0	0	0	2	32
6	鳴海遥香	／	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7	田村奈津子	X	0	0	1	0	4	0	4	0	1	2	0	0	0	0	40
8	福原夕貴	／	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9	五十嵐桃果	／	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	12
10	花田遥歌		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	鶴ヶ谷舞	X	2	0	3	1	4	0	1	2	1	3	1	6	2	0	27
12	佐藤優紀乃	X	15	0	0	4	13	7	8	4	4	2	2	2	0	0	36
13	工藤栄里子	X	7	0	2	3	11	1	4	2	0	3	1	1	0	0	39
14	佐々木静香		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	平川優希	／	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	12
コーチ	小野尚樹									0	0	9	0				
出場:×は先発、／は出場			50	1	13	16	49	15	27	12	7	22	6	9	2	2	200
			確率	7.7%		32.7%		55.6%			計	29					

2分毎による得点の推移



経過時間	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
桜花学園	0	4	12	16	19	21	23	28	28	30	34	41	47	53	55	59	61	63	65	67	69
柴田女子	0	0	3	7	10	14	15	19	23	23	23	23	24	26	32	33	39	41	43	47	50

戦評

昨年度3冠を達成した優勝候補の桜花学園と1回戦を突破し、桜花学園へのチャレンジに燃える柴田女子との戦い。

第1P、両チーム、マンツーマンディフェンスでスタート。高さに勝る桜花学園はセンタータップをものにすると、すぐゴール下の＃8丹羽につなぎ簡単に得点する。その後も＃8丹羽、＃15渡嘉敷にボールを集め得点を重ねリードする。柴田女子も＃13工藤のドライブインや＃5の川崎、＃12佐藤の攻めで追いついていくが8点差で終了。

第2P、柴田女子は中を強く守りディフェンスでは相手のセンターに付かれている＃12佐藤、＃5川崎が外角からのシュートで勝負する。3分過ぎ、桜花学園はセンターを変えると、中へのパスミス等でオフェンスリズムがとれず、得点が止まる間に追い上げられるが残り2分より＃10梅木、＃11大西の得点でリードを広げ前半終了。

第3P、スタートに戻した桜花学園は再び＃8丹羽にボールがつながりリードを広げる。柴田女子も＃5川崎攻めで追いすがるが、中で確実に得点を重ねた桜花学園が59対32と大差となる。

第4P、スタート以外のメンバーの桜花学園に対し、果敢に攻め、追い上げを見せるが大勢は変えられず、桜花学園の快勝で終る。

主審	柴崎 久美子	副審	長尾 繁徳	戦評	菅野 正 (埼玉県高体連)

3P：スリーポイントシュート、2P：2ポイントシュート、FT：フリースロー、OF：オフェンス、DF：ディフェンス、TO：ターンオーバー、ST：スティール、AS：アシスト、BS：ブロックショット